

第1回「ピークカットチャレンジ」の実施結果について

「さわやか信州省エネ大作戦」の取組として、平成23年6月22日(水)の昼間〔13～16時〕、夜間〔20～22時〕に実施した、第1回「ピークカットチャレンジ」社会実験の結果をお知らせします。

1 県全域の取組の概要

【基本比較(前年相当日との比較)】

昼間の時間帯の比較では、平均気温が2 程度高かったにもかかわらず、使用最大電力は、5.2%の削減となった。

夜間の時間帯の比較では、平均気温が1 程度高かったにもかかわらず、使用最大電力は、4.1%の削減となった。

2 主な取組状況

(1) 事業者の取組

冷房の温度設定の徹底や照明の一部消灯などにより、各事業者において、昼間は、3～20%程度の削減効果が現われている。

夜間は、約7割の事業者で削減効果が現われている。

(2) 家庭の取組

気温が高かったにもかかわらず、約7割の家庭で、昼間の使用最大電力が削減された。

3 県機関における取組の概要

【基本比較(前年相当日との比較)】

昼間の時間帯の比較では、平均気温が2 程度高かったにもかかわらず、使用最大電力は、かなりの削減となった。

(県庁舎 41.9%、県合同庁舎平均 21.1%)

夜間の時間帯の比較では、平均気温が1 程度高かったにもかかわらず、使用最大電力は、かなりの削減となった。

(県庁舎 18.5%、県合同庁舎平均 20.8%)

実施結果の詳細については別紙のとおり。

長野県環境部 温暖化対策課温暖化対策係

(課長)中島 恵理(係長)小林 真人

(担当)田中 賢司 柳町 信吾

電話：026-235-7022(直通)

026-232-0111(内線2723)

FAX：026-235-7491

E-mail：ontai@pref.nagano.lg.jp

1 県全域の実施結果（詳細データは別紙 1 参照）

【基本比較（前年相当日との比較）】

取組効果の比較分析に当たっては、比較対象日を「前年相当日」とし、前年同週の間で気温が最も近似している平成 22 年 6 月 22 日を相当日とした。

昼間の時間帯の比較では、平均気温が 2 程度高かったにもかかわらず、使用最大電力は、5.2%の削減となった。

夜間の時間帯の比較では、平均気温が 1 程度高かったにもかかわらず、使用最大電力は、4.1%の削減となった。

【参考比較】

前年同週平均との比較では、昼夜を問わず、前年平均よりもかなり気温が高いにもかかわらず（昼+5.2、夜+2.8）相当程度の削減（昼間 1.0%、夜間 0.3%）となった。

目標としている前年夏期最大との比較では、時期、気温が異なることもあり（昼-2.1、夜-3.3）かなりの程度の削減（昼間 23.2%、夜間 18.7%）となった。

前日との比較では、昼夜ともに気温がかなり高くなったため（昼+4.0、夜+2.7）相当程度の増加（昼間 3.2%、夜間 1.5%）となり、節電効果が気温上昇に吸収されたと思われる。

2 主な取組状況

(1) 事業者の取組

デマンド監視装置等の測定機器を備えた事業者等の協力を得て、その取組の内容などを整理。
冷房の温度設定の徹底や照明の一部消灯などにより、各事業者において、昼間は、3～20%程度の削減効果が現われている。
夜間は、約7割の事業者で削減効果が現われている。

事業者名	取組内容の例	結 果		備 考
A事業者 (製造業)	<ul style="list-style-type: none"> ・節電アクションの取組の徹底 ・自然風取り入れによる冷房運転の自粛 ・屋内照明の間引き点灯 	昼	前年同日：1,190kW 当 日：1,152kW 3.2% 削減	
	<ul style="list-style-type: none"> ・節電アクションの取組の徹底 ・冷房用チラーの早期停止 ・屋外照明の間引き点灯、タイマー制御 	夜	前年同日：996kW 当 日：942kW 5.4% 削減	
B事業者 (製造業)	<ul style="list-style-type: none"> ・冷房28 運転の厳格運用 ・廊下・ロビー等の照明削減 ・離席時のPCモニターOFF ・エレベーターの運転停止(半減) 	昼	前年同日：960kW 当 日：900kW 6.3% 削減	前年同日と比べ、最高気温が2.7高かった
	<ul style="list-style-type: none"> ・外灯、看板灯の消灯 ・夜間体育館の使用停止 ・定時退社の徹底 	夜	前年同日：300kW 当 日：340kW 13.3% 増加	会議等により空調と照明の負荷が増加
C事業者 (商業施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・節電アクションの取組の徹底 ・事務室等の照明の更なる消灯の徹底 ・店内のスポットライトの消灯(使用削減) 	昼	前年同日：1,994kW 当 日：1,658kW 16.9% 削減	
	<ul style="list-style-type: none"> ・節電アクションの取組の徹底 ・屋上ネオン灯、袖看板、正面懸垂幕の照明や広告灯・ショーウィンドウを19時15分に消灯 ・夜間客用エレベーターの運転台数削減 	夜	前年同日：526kW 当 日：594kW 12.9% 増加	催事入れ替えの為、最大需要電力が増加
D事業者 (金融機関)	<ul style="list-style-type: none"> ・節電アクションの取組の徹底 ・事務室内照明のより一段の消灯(30%以上消灯) 	昼	前年同日：2,000kW 当 日：1,890kW 5.5% 削減	

D事業者 (金融機関)	<ul style="list-style-type: none"> ・節電活動の徹底 ・早帰りの実施 ・時間外の必要箇所のみ点灯 ・退社時のOA機器のコンセント抜きの徹底 	夜	前年同日：1,230kW 当 日：1,160kW 5.7% 削減	
E市役所 (第一庁舎)	<ul style="list-style-type: none"> ・冷房28の徹底 ・窓際の照明の間引き ・PC等のこまめな電源offの徹底 ・PC画面の輝度を下げる 	昼	前年同日：397kW 当 日：321kW 19.1% 削減	
	<ul style="list-style-type: none"> ・退庁時、PCのACアダプターの電源を抜く ・午後6時30分に本庁舎一斉消灯 	夜	前年同日：135kW 当 日：60kW 55.6% 削減	
E市役所 (第二庁舎)	・第一庁舎と同じ	昼	前年同日：566kW 当 日：499kW 11.8% 削減	正時毎に記録した使用電力の中の最大値を比較
	・第一庁舎と同じ	夜	前年同日：374kW 当 日：148kW 60.4% 削減	
F市役所 (本庁舎、支所等)	<ul style="list-style-type: none"> ・節電アクションの取組の徹底 ・必要最低限の照明の点灯 ・不要なPC等OA機器の電源を切り、共有化した ・冷房28の徹底 ・電気ポットのプラグ抜き 	昼	(参考)前日比較 前 日：723kW 当 日：752kW 4.1% 増加	H22 冬にデマンド監視装置を取り付けた庁舎がほとんどであるため、前日データと比較
	<ul style="list-style-type: none"> ・節電アクションの取組の徹底 ・無駄な照明等の徹底的な消灯 ・ノー残業デーの徹底 	夜	前 日：489kW 当 日：464kW 5.1% 削減	
G組合 (一部事務組合)	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間電力の活用 ・オゾン濃度の調整 ・前処理機運転時間の集中化 	昼	前年同日：423kW 当 日：410kW 3.1% 削減	
	・オゾン濃度の調整	夜	前年同日：246kW 当 日：237kW 3.7% 削減	
H市役所	<ul style="list-style-type: none"> ・夏期軽装による市議会本会議 ・昼食休憩時間帯の変更(ランチシフト) 	昼	-	-
I事業者 (鉄道事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ車両の投入 ・一運行当たりの車両数を減 ・車両ドアを半自動に 	-	-	-

(2) 家庭の取組

県で実施中の、「家庭の省エネ“見える化”事業」において、モニタリング参加家庭に協力を頂き、内容等を整理。取組効果については、前年データが無いため、前日との比較を行った。
 気温が高かったにもかかわらず、約 7 割の家庭で、昼間の使用最大電力が削減された。

ご協力いただいた皆様	主な取組	取組効果	
A 氏 北信在住	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビの視聴時間の減少 ・便座の保温機能オフ ・電気ポットから保温ポットへの切り替え 	昼	前日 0.47 KW 当日 0.44 KW 7%削減
		夜	前日 0.67 KW 当日 0.46 KW 31%削減
B 氏 北信在住	<ul style="list-style-type: none"> ・冷蔵庫中のカーテン取り付け ・扇風機をやめてうちわの使用 	昼	前日 0.34 KW 当日 0.34 KW 1%削減
		夜	前日 0.64 KW 当日 0.37 KW 42%削減
C 氏 東信在住	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビの視聴時間の減少 ・冷蔵庫の自動製氷機能の停止 ・冷蔵庫の設定温度を「強」から「中」 	昼	前日 0.20 KW 当日 0.26 KW 26%増加
		夜	前日 0.66 KW 当日 0.44 KW 34%削減
D 氏 東信在住	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビの視聴時間の減少 ・冷蔵庫の設定温度を「強」から「中」 	昼	前日 0.16 KW 当日 0.08 KW 50%削減
		夜	前日 0.45 KW 当日 0.33 KW 27%削減
E 氏 中信在住	<ul style="list-style-type: none"> ・使わない電気製品の電源プラグを抜く ・IHクッキングヒーターを使わずガスコンロで調理 ・室内照明の率先消灯 	昼	前日 0.38 KW 当日 0.32 KW 15%削減
		夜	前日 0.69 KW 当日 0.47 KW 33%削減

F氏 中信在住	・室内照明の率先消灯	昼	前日 0.05 KW 当日 0.05 KW 1.1%増加
		夜	前日 0.29 KW 当日 0.26 KW 1.2%削減
G氏 中信在住	・室内照明の率先消灯 ・使用していない電気製品の電源プラグ抜き	昼	前日 1.21 KW 当日 0.75 KW 3.8%削減
		夜	前日 2.59 KW 当日 2.00 KW 2.3%削減
H氏 中信在住	・室内照明の率先消灯 ・使用していない電気製品の電源プラグ抜き	昼	前日 0.13 KW 当日 0.14 KW 1.2%増加
		夜	前日 0.50 KW 当日 0.11 KW 7.8%削減
I氏 南信在住	・室内照明の率先消灯 ・使用していない電気製品の電源プラグ抜き	昼	前日 0.32 KW 当日 0.27 KW 1.7%削減
		夜	前日 0.91 KW 当日 0.53 KW 4.1%削減
J氏 南信在住	・室内照明の率先消灯 ・使用していない電気製品の電源プラグ抜き	昼	前日 0.05 KW 当日 0.04 KW 1.5%削減
		夜	前日 0.84 KW 当日 0.20 KW 7.6%削減
K氏 北信在住	・室内照明の率先消灯 ・テレビの視聴時間の減少	昼	前日 0.19 KW 当日 0.08 KW 5.9%削減
		夜	前日 0.25 KW 当日 0.21 KW 1.6%削減

3 県機関における取組結果（詳細データは別紙 2、3 参照）

【基本比較（前年相当日との比較）】

昼間の時間帯の比較では、平均気温が 2 程度高かったにもかかわらず、使用最大電力は、かなりの削減となった。

（県庁舎 41.9%、県合同庁舎平均 21.1%）

夜間の時間帯の比較では、平均気温が 1 程度高かったにもかかわらず、使用最大電力は、かなりの削減となった。

（県庁舎 18.5%、県合同庁舎平均 20.8%）

【参考比較】

前年同週平均との比較では、昼夜を問わず、前年平均よりもかなり気温が高いにもかかわらず（昼 + 5.2、夜 + 2.8）大きな削減となった（県庁舎・合同庁舎ともに、昼間 約 25%、夜間 約 15%）。

目標としている前年夏期最大との比較では、時期、気温が異なることもあり（昼 - 2、夜 - 3 程度）相当程度の削減となった（昼間：県庁舎 48%、合同庁舎 68%、夜間：県庁舎 19%、合同庁舎 23%）。

前日との比較では、合同庁舎については一定程度の削減となった（昼間及び夜間 約 10%）。ただし、県庁舎については、昼間の気温が高かったため（昼 + 4.0）サーバー室等の空調負荷増加により節電効果が気温上昇に吸収され微増となった（昼間 + 1.4%）。

〔主な取組〕

（1）「さわやか信州省エネ大作戦」として実施してきた取組

- ・事務室内、廊下、エレベーターホール等の一部消灯
- ・エレベーターの稼働台数制限
- ・パソコンの省エネモード設定
- ・トイレの未利用時の消灯
- ・ノー残業デーの促進、18 時に一斉一旦消灯
- ・退庁時の OA 機器のプラグ抜き

（2）「ピークカットチャレンジ」実施日に特に行った取組

- ・自動ドアの停止（開放）
- ・コピー室の消灯
- ・TV や電気ポット等のプラグ抜き
- ・定時退庁の徹底

4 取組結果を踏まえた今後の方針

第 1 回目の実施結果から取組の一定の効果が伺えることから、さらに一層の県民各層への周知を図り、取組を強化する。

今後の第 2 回目以降の「ピークカットチャレンジ」に臨む中で、専門機関等の協力を得ながら、より効果的な分析について研究を進める。